



具志頭から破名城に続く海岸地域一体は、豊かな自然環境に恵まれ、様々な資源を有しています



小城の豊年祭、五穀豊穣を祈って華やかに道ズネーが行われます



道具を使わずに手と足だけで岩を登るボルダリング



夏場の南風を受けて行われるパラグライダー



地域住民による海浜清掃活動

地域資源を掘り起こし、自然環境の保全と活用を考える



カヌー体験

八重瀬町の南部にある具志頭から破名城に続く海岸地域は、背後の丘陵地域も含め多様な自然環境に恵まれ、様々な資源を有する場所です。シュノーケリングやダイビングで珊瑚や小魚を見て楽しむことができるイノー(礁地)や具志頭城址、多々名グスクといった歴史的価値を有する文化財も散在します。また、特有の岩場を有するぐしちゃん浜では、ボルダリング(岩登り)大会やパラグライダー大会も定期的に開催されています。観光に対する注目が集まる中、このような地域資源を掘り起こし、自然環境の保全と活用を考えていく取り組みが始まっています。



東風平の棒巻、培われた伝統行事が集落の団結心を育んできました(写真:写真家島袋庸緒氏提供)



ハーレーの前には自然と祖先を敬いお祈りが捧げられます

祖先を敬い自然を尊ぶ四季折々の伝統を次世代へ



漁の大漁と安全航海を祈願して行われる、港川ハーレー

八重瀬町には、先人たちが培ってきた歴史や文化が脈々と受け継がれ、自然と調和した生活や四季折々の伝統行事が数多く残っています。それは、長い歴史と豊かな自然の中で形成され、祖先を敬う心から育まれてきました。祖先の霊を祀る旧盆や五穀豊穣を祈願する豊年祭、漁の大漁祈願と安全祈願をする浜下り・港川ハーレーなど四季ある自然の中で培われてきた文化が、わたしたちの生活の一部として根付いています。それが集落の団結や一族の絆を深め、助け合いの精神を今に繋いできました。祖先を敬い自然を尊ぶ心を次世代へ引き継いでいくためにも、八重瀬町では、自然環境の保全と活用を町民と共に考え、人と自然が共生できるまちづくりを進めています。